

文化振興基本計画施策体系表

施策の柱	基本的な施策	主な施策概要	事業の具体例
①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	◆市の文化施設での文化に関する講座、講演会等の開催
		【2】市民の鑑賞機会の提供	◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術博物館での美術作品の展覧会の開催、文化に関する資料等の展示、展覧会等の開催 ◆谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居での文学資料に関する展示、展覧会等の開催 ◆芦屋市展の開催
		【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	◆文化団体の創作、発表等の活動への助成等による支援 ◆伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援 ◆市の文化施設での創作、練習、発表等の活動の場の提供 ◆市の文化施設の利用環境の整備
		【4】文化活動に関する情報の提供	◆広報紙、ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報の提供
	イ 高齢者、障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	◆市の文化施設のバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者、障がい者の観覧料等の軽減
	ウ 青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術博物館での人形劇の実施
		【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しむための事業の実施 ◆市立美術博物館での文化を体験する機会の提供や体験型ワークショップの実施
	エ 学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設、芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材(ボランティア)リストの作成
	オ 人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	◆市民絵画展、芦屋市展、芦屋市造形教育展の開催
	カ 文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減
②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア 地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	◆歴史を学ぶ機会の提供 ◆伝統的な文化に触れる機会の提供 ◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保 ◆市の文化施設での地域・文化などの講座、講演会や資料展示の充実
		【12】文化財保護の充実等	◆文化財の保存・整備と活用 ◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施 ◆市立美術博物館での文化財等に関する資料の収集、保管、展示及び研究 ◆広報紙、ホームページ等による文化財に関する情報の提供
	イ 国内及び国外との交流の促進	【13】国際交流の推進 【14】多文化理解の推進	◆海外の姉妹都市との交流事業 ◆市立潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施
	ウ 地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	◆アートフリーマーケット等による芸術家等の育成支援 ◆市の文化施設の地域のにぎわい創出等への活用 ◆広報紙、ホームページ等による行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信
	エ 良好な景観の形成	【16】良好な景観の形成	◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進 ◆景観地区のうち、特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により、良好な景観の保全・育成の推進
③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	ア 市の文化施設の充実	【17】市の文化施設の機能の充実	◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ活動等の実施 ◆文化施設における参加体験型(ワークショップ)事業の実施 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進 ◆文化施設の機能の向上
		【18】運営方法の点検等	◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施 ◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証
	イ 学校施設、公共施設の活用	【19】学校施設、公共施設の活用	◆学校施設、公共施設の文化活動の場としての活用
	ウ 情報の収集等	【20】情報の収集等	◆広報紙、ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供 ◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用 ◆施設利用予約システムの運用
		【21】利便性の向上	◆市の文化施設における取蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進
	エ 文化活動に対する支援	【22】文化にかかわる資料、作品、情報等の保存 【23】活動している個人や団体に対して、より重点的・効果的な支援の充実	◆芦屋市芸術文化活動助成事業の実施 ◆地域文化活動補助事業の実施 ◆寄附税制等に関する周知
	オ 文化活動に対する民間支援活動の促進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆文化団体への寄附の促進 ◆企業メセナ等に関する情報の提供
	カ 顕彰の実施	【25】顕彰の実施	◆市民文化賞による表彰の実施 ◆富田碎花賞顕彰事業の実施

各課別事業一覧

課名	掲載ページ	項目NO	事業名
市長室	P. 7-P. 8	70	市民文化賞
	P. 7-P. 8	51	姉妹都市交流事業
	P. 7-P. 8	52	
	P. 7-P. 8	53	
	P. 7-P. 8	54	
	P. 7-P. 8	55	潮芦屋交流センター事業
	P. 7-P. 8	56	
	P. 7-P. 8	57	
広報国際交流課	P. 7-P. 8	58	
	P. 1-P. 2	12	地区集会所管理運営事業
	P. 1-P. 2	15	県民交流広場事業
	P. 5-P. 6	40	後援名義使用承認
	P. 5-P. 6	41	社会教育関係団体等の使用料の軽減
	P. 7-P. 8	60	さくらまつり開催事業
	P. 7-P. 8	67	芦屋市芸術文化活動助成事業
	P. 7-P. 8	68	市民文化振興基金の啓発事業
市民参画課	P. 7-P. 8	69	民間支援活動の促進事業
	P. 7-P. 8	71	芦屋市芸術文化活動顕彰事業
	P. 1-P. 2	1	あしや秋まつり
	P. 1-P. 2	11	さくらまつり写真コンクール
	P. 7-P. 8	59	あしや秋まつり
	P. 1-P. 2	2	リーダー養成講座
	P. 1-P. 2	3	児童センター子育て講演会
	P. 1-P. 2	4	母親教室
上宮川文化センター	P. 1-P. 2	8	人権啓発展示会
	P. 1-P. 2	9	ヒューマンライツシアター
	P. 1-P. 2	10	ワンコインシアター
	P. 1-P. 2	13	上宮川文化センター図書室
	P. 1-P. 2	14	上宮川文化センター管理運営
	P. 3-P. 4	25	児童センター映画会
	P. 3-P. 4	26	人形劇
	P. 3-P. 4	27	お話シアター
	P. 3-P. 4	28	食育講座
	P. 3-P. 4	24	芦屋市障がい児・者作品展
	P. 1-P. 2	16	敬老会事業
	高齢介護課	P. 1-P. 2	17
P. 1-P. 2		18	Y〇クラブ活動支援
P. 3-P. 4		19	老人クラブ活動支援
P. 3-P. 4		20	ゆうゆう倶楽部の利用
P. 3-P. 4		21	生きがいデイサービス
P. 3-P. 4		22	シルバー人材センター支援
P. 3-P. 4		23	老人福祉会館運営
P. 1-P. 2		7	オープンガーデン
公園緑地課	P. 1-P. 2	7	オープンガーデン
	P. 5-P. 6	39	芦屋市教育委員会後援名義の使用承認
教育委員会 教管 理 課	P. 7-P. 8	63	学校園施設目的外使用の使用許可
	P. 3-P. 4	31	学校給食展
学校教育課	P. 3-P. 4	32	芦屋市立学校園花いっぱい活動
	P. 3-P. 4	33	自由研究・教育活動展
	P. 3-P. 4	34	中学校総合文化祭
	P. 3-P. 4	35	芦屋市造形教育展
	P. 3-P. 4	36	読書スタンプラリー
	P. 5-P. 6	38	食育授業研究会
	P. 7-P. 8	65	なかよしフェスティバル
	P. 7-P. 8	66	芦屋市英語暗唱・スピーチコンテスト
	P. 1-P. 2	5	平和の鐘を鳴らそう
	生涯学習課	P. 1-P. 2	6
P. 3-P. 4		29	夏休み子供教室
P. 3-P. 4		37	文化財ボランティア養成講座
P. 5-P. 6		42	社会教育関係団体支援・育成事業
P. 5-P. 6		43	
P. 5-P. 6		44	公民館講座（秋・春）（文化財関連）
P. 5-P. 6		45	公民館・文化セミナー（文化財関連）
P. 5-P. 6		46	市民センター文化財関連展示
P. 5-P. 6		47	トライやるウィーク中学生の受け入れ
P. 5-P. 6		48	文化財関連冊子の刊行
P. 5-P. 6		49	文化財の指定・登録
P. 5-P. 6		50	『広報あしや』文化財関連記事の掲載
P. 5-P. 6		61	芦屋市文化遺産継承・活性化事業
P. 5-P. 6		62	国指定史跡会下山遺跡復元高床倉庫かやぶき屋根ふき替え体験会
P. 5-P. 6		64	コミュニティ・スクールへの活動支援事業
P. 7-P. 8		72	富田碎花賞の開催
P. 7-P. 8		73	富田碎花旧居の公開

各 課 別 事 業 一 覧

課 名	掲載 ページ	項目 NO	事 業 名	
美 術 博 物 館	P. 9-P. 10	1	展示事業（関連事業としての講座・講演，ワークショップを含む）	
	P. 9-P. 10	2		
	P. 9-P. 10	3		
	P. 9-P. 12	4		
	P. 11-P. 12	5		
	P. 11-P. 12	6		講演，講座等
	P. 11-P. 12	7		
	P. 11-P. 12	8		
	P. 11-P. 12	9		
	P. 11-P. 12	10		
	P. 11-P. 12	11	その他事業	
	P. 11-P. 12	12		
	P. 11-P. 12	13		
	P. 11-P. 12	14		
	P. 13-P. 14	15		
	P. 13-P. 14	16		
	P. 13-P. 14	17		
	P. 13-P. 14	18		
	P. 13-P. 14	19		
	P. 13-P. 14	20		
	P. 13-P. 14	21		
谷 崎 潤 一 郎 記 念 館	P. 15-P. 16	1	ロビーギャラリー	
	P. 15-P. 16	2	ロビーギャラリートーク	
	P. 17-P. 18	3	文学館講座	
	P. 17-P. 18	4	1日講座	
	P. 17-P. 18	5	現地講座	
	P. 17-P. 18	6	朗読会	
	P. 17-P. 18	7	特別イベント	
	P. 17-P. 18	8	特別行事	
	P. 19-P. 20	9	展示事業	
	P. 19-P. 20	10	谷崎潤一郎賞特別記念講演会の開催	
市 民 セ ン タ ー 公 民 館	P. 21-P. 24	1	講座・セミナー・学級等の開催	
	P. 23-P. 24	2	常設展示事業・公民館ギャラリー	
	P. 25-P. 26	3	公民館図書室	
	P. 25-P. 26	4	市民センター管理運営	
	P. 25-P. 26	5	市民会館文化事業	
	P. 25-P. 26	6	ルナ・ホール事業	
	P. 25-P. 26	7	市民センター管理運営	
	P. 25-P. 26	8	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院	
図 書 館	P. 27-P. 28	1	読書講演会	
	P. 27-P. 28	2	大人が楽しむおはなしの会	
	P. 27-P. 28	3	金曜シネサロン	
	P. 27-P. 28	4	ライブラリーコンサート	
	P. 27-P. 28	5	ギャラリー展示	
	P. 27-P. 28	6	絵本の会	
	P. 27-P. 28	7	小学生の本の部屋	
	P. 27-P. 28	8	人形劇の会	
	P. 27-P. 28	9	こどもおはなしの会	
	P. 27-P. 28	10	怖くて楽しいおはなしの会	
	P. 27-P. 28	11	打出分室こどもおはなしの会	
	P. 27-P. 28	12	親子で楽しむおはなしの会	
	P. 27-P. 28	13	親子で楽しむ絵本の会	
	P. 27-P. 28	14	折り紙教室（子ども対象）	
	P. 27-P. 28	15	おはなしの研究会	
	P. 27-P. 28	16	こどもの本の研究会	
	P. 27-P. 28	17	資料収集保存	

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	NO	イベント 講座名 事業名	新規・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
					① 施策の 柱	② 基本的 な施策	③ 主な 施策概要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
										イベント・講座名	実施内容				
経済課	船曳純子	1	あしや山まつり	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文化を通じた世代間交流	ハイキング及び音楽コンサートなど		全世代	5月	1	—	
上宮川文化センター	加賀淳治	2	リーダー養成講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	人権啓発の推進	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに講演会を行い、啓発の場とする。	リーダー養成講座	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに講演会を行い、啓発の場とする。	全世代	年1回	3	76
		3	児童センター子育て講演会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	児童の健全育成を図る	子育て、教育について様々なテーマで講演会を行う。	児童センター子育て講演会	子育て、教育について様々なテーマで講演会を行う。	親	秋頃	1	32
		4	母親教室	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	児童の健全育成を図る	健康・子育て・食育・環境をテーマに交流する。	母親教室	健康・子育て・食育・環境をテーマに交流する。	子育て中の保護者	年3~4回	4	64
		5	平和の鐘を鳴らそう	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	平和と人権について啓発	終戦記念日である8月15日に市民センターにある優愛の鐘を鳴らし平和を祈り、戦争にまつわる話等を聞き、平和と人権について考える。	平和の鐘を鳴らそう	終戦記念日である8月15日に市民センターにある優愛の鐘を鳴らし平和を祈り、戦争にまつわる話等を聞き、平和と人権について考える。	市民	8月15日	1	約100
公園緑地課	足立党	7	オープンガーデン	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	花と緑のまちづくりの推進を目的に個人宅、マンション敷地、学校園、公園で活動されている個人、団体から参加を募り、庭や花壇を公開する。		花と緑のまちづくりの推進を目的に個人宅、マンション敷地、学校園、公園で活動されている個人、団体から参加を募り、庭や花壇を公開する。	全世代	5月10日~5月17日	1	107	
		8	人権啓発展示会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	人権啓発の推進	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに展示会を行い、啓発の場とする。	人権啓発展示会	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに展示会を行い、啓発の場とする。	全世代	年1回	1	420
		9	ヒューマンライツシアター	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	上宮川文化センター利用促進	人権・平和・環境に関する映画を上映することで、人権意識の高揚を図る。	ヒューマンライツシアター	人権・平和・環境に関する映画を上映することで、人権意識の高揚を図る。	全世代	年2~3回	6	480
上宮川文化センター	加賀淳治	10	ワンコインシアター	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	上宮川文化センター利用促進	名作映画の上映会実施	ワンコインシアター	名作映画の上映会を実施	全世代	年3~4回	6	432
		11	さくらまつり写真コンクール	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	市民の文化活動促進	芦屋市内のさくらをテーマにした写真を市民から募りコンクールを行う。		芦屋市内のさくらをテーマにした写真を市民から募りコンクールを行う。	全世代	5月	1	—
		12	地区集会所管理運営事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	活動の場の提供	地区集会所を利用した文化の創作、練習、発表の場の提供		地区集会所を利用した文化の創作、練習、発表の場の提供				
上宮川文化センター	加賀淳治	13	上宮川文化センター図書室	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	上宮川文化センター図書室の運営	上宮川文化センターで図書の出借を行う。	上宮川文化センター図書室	上宮川文化センターで図書の出借を行う。	阪神7市1町在住、芦屋市在学・在勤の者	通年		4074
		14	上宮川文化センター管理運営	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	上宮川文化センター施設の管理運営、貸出	上宮川文化センター管理運営・貸出	上宮川文化センター管理運営	上宮川文化センター管理運営・貸出	全世代	通年		4055
市民参画課	山田弥生	15	県民交流広場事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【4】文化活動に関する情報の提供	情報の提供	地区集会所での県民交流広場事業の広報誌、ホームページでの広報						
高齢介護課	宮本雅代	16	敬老会事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者を招待し、敬老の意を表す。		式典・演芸	高齢者	9月13日	1	700
		17	演芸フェスティバル	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者の演芸発表会		歌・民謡等	高齢者	7月5日	1	500
		18	YOKUクラブ活動支援	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者団体の活動支援	YOKUクラブ等	歌・芝居等	高齢者	通年		会員100

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組					
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎を記入ください)					
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)
402	参加者数	人	1000	1000	現状維持	B	新たな開催場所の確保	周辺文化財や自然遺産の紹介	◎	◎	◎	◎	商工会会報	あしや観光協会
120	参加者数	人	110	76	現状維持	B		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎				
32	参加者数	人	25	32	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎				
70	参加者数	人	109	64	現状維持	B		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎				
	参加者数	人	100	100	現状維持	B	戦争を知っている世代の減少	過去の悲惨な出来事を繰り返さないよう、平和と人権の尊さを啓発・継承していく。	◎	◎			毎日新聞 読売新聞 神戸新聞	人権推進課・公民館 芦屋ユネスコ協会
100	受講者の満足度	%		91	現状維持	A		参加者が学ぶだけに留まらず、次の活動につなげられるような仕組みを検討したい。	◎					兵庫県立芦屋高校
1,585	参加者数(オープンガーデン箇所数)	箇所	81	107	増加	B	公共施設、個人参加者の定着及び促進	花と緑いっぱい取組を実施し、市民意識の向上を促す。	◎	◎		◎		
	参加者数	人	450	420	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎				
324	参加者数	人	637	480	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎				
	参加者数	人	376	432	現状維持	A		行事を通じて上宮川文化センター利用につなげる	◎	◎				兵庫県映画センター
10	応募者数	人	71	42	減少	C	新たな応募者数の確保	市役所展示コーナーでの展示	◎	◎	◎		神戸新聞	あしや観光協会
60,352	利用率	%	47	49	現状維持	A	楽器の演奏などができない場合がある。	市として楽器演奏ができる施設の充実	◎	◎				
629	貸出利用者数	人	6210	4074	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。		◎				図書館
14,059	使用件数	件	5967	4055	現状維持	A		適切な施設の維持管理に努める。		◎				
0	参加者数	人				A	県民交流事業の後継者が不足している。	引き続き広報にて支援し、事業の活性化につなげたい。	◎	◎				
850	参加者数	人	960	700	増加	B	対象者の選別	会に相応しい内容を提供する。	◎	◎		◎		老人クラブ
250	参加者数	人	400	500	増加	B	内容のマンネリ化	趣旨に相応しい内容にする。	◎	◎		◎		
100	会員数	人	100	100	増加	B	会員の増加	会の活動を活性化する。	◎	◎				Y〇倶楽部

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	NO	イベント 講座等 事業名	新規・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
					① 施策の 柱	② 基本的 な施策	③ 主な 施策概要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
										イベント・講座名	実施内容				
高齢介護課	宮本雅代	19	老人クラブ活動支援	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者団体の活動支援	高齢者スポーツ大会等	高齢者	通年		会員3000	
		20	ゆうゆう倶楽部の利用	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者の生きがい拠点の提供	ゆうゆう倶楽部	歌・パソコン・手芸等	高齢者	通年	400回	延4000
		21	生きがいデイサービス	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者の生きがい活動の実施	生きがいデイサービス	手芸・コーラス等	高齢者	通年	230回	延3300
		22	シルバー人材センター支援	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者の就労活動の支援	はつらつ中心等	介護予防に資する取組	高齢者	通年	365日	会員1000
		23	老人福祉会館運営	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者の生きがい支援	高齢者の生きがい拠点の運営	老人福祉会館の利用	入浴・囲碁等	高齢者	通年	296日	延29000
障害福祉課	本間慶一	24	芦屋市障がい児・者作品展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	文化を通じた世代間交流	多くの市民に、障がい児・者への理解を深めてもらうことを目的に作品を展示		市民	11月5日～11月11日	1	150	
上宮川文化センター	加賀淳治	25	児童センター映画会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	児童の健全育成を図る	子どもの想像力や表現力を養い、文化・芸術活動を高めることによって児童の健全育成を図る。	児童センター映画会	児童	夏・秋	2	69	
		26	人形劇	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	児童の健全育成を図る	人形劇を通して豊かな心を育てる。	人形劇	人形劇を通して豊かな心を育てる。	幼児、保護者	9月	1	54
		27	お話シアター	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	児童の健全育成を図る	歌や物語を通して、豊かな感性と表現力を育てる。	お話シアター	歌や物語を通して、豊かな感性と表現力を育てる。	小学校1～3年生	夏休み	1	138
		28	食育講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	児童の健全育成を図る	身近な題材を通じて、食の問題を楽しく考える。	食育講座	身近な題材を通じて、食の問題を楽しく考える。	小学校1～3年生、3歳児と保護者	夏休み、11月	2	280
生涯学習課	長岡一美	29	夏休み子供教室	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもが文化財に興味をもつ機会を提供	子どもを対象に「まが玉づくり」を実施し、市内の文化財について知り、文化財に興味をもつ機会をつくる。	夏休み子ども教室「まが玉づくり」	中学生以下	8月17日	2	延べ62	
青少年育成課	田中徹	30	あしやキッズスクエア	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	児童の放課後の居場所づくり	小学校の児童が放課後に校庭や校舎を利用し、地域の方等の見守りを受けながら安全に過ごす居場所を提供する。	体験プログラム	キッズスクエア登録者(小学生)	随時(各校別)	精道小19回 山手小92回 潮見小75回	延べ約1,200	
学校教育課	荒谷芳生	31	学校給食展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校における文化活動の紹介	市民センターでの学校給食・栄養・食生活についてのパネル展示、食生活についてのクイズ、児童作品展示、試食等		市民	7月23日～24日	1	約500人	
		32	芦屋市立学校園花いっぱい活動	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	市役所本庁舎北館1階で、学校園を写真展示により市民に紹介する。	「学校園花いっぱい活動」写真展	芦屋市立学校園の花を市民に紹介する。	市民	7月10日～23日	1	—
		33	自由研究・教育活動展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	市民センターで学校園の教育活動の写真や子どもの作品を400点展示			市民	9月11日～14日	1	約1,650人
		34	中学校総合文化祭	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	中学校間の文化交流	ルナホールでの中学生の音楽演奏や作品展示			市民	11月2日、11月14日～16日	1	約1,100人
		35	芦屋市造形教育展	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	学校園における文化活動の紹介	学校園の子どもの絵画や工作等の作品を1,000点展示			市民	2月20日～2月28日	1	4,300人
		36	読書スタンプラリー	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	エ_学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	子どもの読書活動の推進	読書冊数を記録し、目標に達した児童に表彰状を渡す。			小学校児童	通年	1	約4,700人
生涯学習課	長岡一美	37	文化財ボランティア養成講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	オ_人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	自律した文化財ボランティアの養成	今後、文化財に関連するボランティア活動を積極的に行う人材を養成する。	文化財ボランティア養成講座	生涯学習課山上整理事務所、文化財ボランティアの活動内容を説明し、体験する。	文化財ボランティアに関心のある市民	12月1日	1	7

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果の実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組								
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当するところ◎をご記入ください)								
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)		
7,188	会員数	人	3000	3000	増加	B	会員の増加	会の活動を活性化する。	◎	◎							老人クラブ
71	参加者数	人	6200	4000	増加	C	会員の増加	地域の拠点となるような企画を行う。	◎	◎							シルバー人材センター
2,945	参加者数	人	3400	3300	増加	B	会員の増加	地域の拠点となるような企画を行う。	◎	◎							社会福祉協議会
20,000	会員数	人	1000	1000	増加	B	内容の拡充	高齢者の社会参加の拠点となるような企画を行う。	◎	◎							シルバー人材センター
4,679	参加者数	人	29000	29000	増加	B	内容の拡充	地域の拠点となるような企画を行う。	◎	◎							シルバー人材センター
0	障がい者手帳所持者数における出展者数割合	%	3	3	増加	B	認知度が低く一般参加者数が少ない状況である。	周知に努め一般参加者の出展数増加も目指す。	◎								社会福祉協議会 県立戸屋特別支援学校
100	参加者数	人	356	69	現状維持	C		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎							
30	参加者数	人	81	54	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎							
9	参加者数	人	137	138	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎							
15	参加者数	人	257	280	現状維持	A		今後も適切に事業を継続する。	◎	◎							
	開催回数	回	2	2	現状維持	A	体験のメニューがまが玉づくりに限られている。	まが玉づくり以外のメニューを企画する。	◎	◎						公民館	文化財ボランティア
16,167	1校あたり平均利用者数	人/日		22.1	増加	A	より多様な文化を体験プログラムに取り入れる。	様々な市内の人・団体との協力体制を構築する。	◎	◎							
349	来場者数	人	446	476	増加	B	芦屋の学校給食を広く知ってもらおう。	広く広報する。	◎	◎				◎			
409						A	対象が来庁者のみとなっている。	多くの市民に周知する。	◎	◎				◎			
659	来場者数	人	1,400	1,650	増加	B	展示内容の精選	展示内容を検討する。	◎								
428	来場者数	人	1,100	1,100	現状維持	A	来場者数を増やす。	広く広報する。	◎	◎							
621	来場者数	人	4,782	4,300	増加	C	来場者数を増やす。	広く広報する。	◎				◎				
249	ゴール達成者数	人	314	376	増加	B	ゴール達成者を増やす。	児童に積極的に働きかける。									
	参加者数	人	3	7	増加	A	文化財ボランティアの活動方針が決まっていない。	文化財ボランティアの活動方針を確立する。	◎	◎							文化財ボランティア

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	NO	イベント 産 業 事 業 名 称	新規 ・ 継 続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表						
					① 施 策 の 柱	② 基 本 的 な 施 策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対 象 世 代 (誰 向 け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)	
										イベント・講座名	実施内容					
学校教育課	荒谷芳生	38	食育授業研究会	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	オ__人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	学校給食を活用した食育の推進	学校給食を活用した食育公開授業を実施し、研修を深める。		教諭・栄養教諭・栄養職員	3月8日	1	15人		
教育委員会管理課	山川範	39	芦屋市教育委員会後援名義の使用承認	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ__文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	教育、学術、文化及びスポーツに関する事業を行う団体に対し、芦屋市教育委員会の後援名義の使用を承認する。								
市民参画課	山田弥生	40	後援名義使用承認	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ__文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	後援名義による文化活動の支援	市の後援名義の使用を承認する。							
		41	社会教育関係団体等の使用料の軽減	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ__文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	使用料の軽減	地区集会所の使用料を減免する。							
生涯学習課	長岡一美	42							社会教育関係団体の登録更新							
		43	社会教育関係団体支援・育成事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ__文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	社会教育活動の推進	社会教育関係登録団体研修会の実施	研修会	芦屋市の考える社会教育関係登録団体について正しく理解していただく為の説明と団体間の情報交流	社会教育関係登録団体	2月19日 午前・午後	2	205団体	
		44	公民館講座(秋・春)(文化財関連)	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	歴史・文化財の啓発	市民に市の歴史や文化財について理解し、関心をもっていただくために関連した講座を実施	(秋)「日本古代国家の謎を解き明かす」(春)「阪神間モダニズムと芦屋・西宮・尼崎」	市内遺跡発掘調査の成果と日本古代史との関係を講義し、市民の市の歴史や文化財に対する理解を図る。	歴史に関心のある方	3月3日～ 3月24日、10月8日～11月6日	8	延べ623	
		45	公民館・文化セミナー(文化財関連)	新規	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	芦屋の空襲を継承	芦屋の空襲を継承するために文化セミナーを開催	「阪神間の芦屋と空襲について」	芦屋と阪神間の空襲についての講演後、受講者から当時の情報を提供いただく。	戦争に関心のある方	7月16日	1	45	
		46	市民センター文化財関連展示	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	市内文化財の啓発	市民に市の歴史や文化財について理解し、関心をもっていただくために、文化財に関連した展示を実施する。	「国史跡会下山遺跡を守り、活かす」展①②	市民センター展示場で国史跡会下山遺跡の出土品等を展示し、市民の市の歴史や文化財に対する理解を図る。	市民	10月23日～11月1日	2		
		47	トライやるウィーク中学生の受け入れ	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	職業体験を通じ、中学生が文化財に興味をもつ機会を提供	市内の中学校の生徒が、文化財の発掘調査や整理作業に従事することによって、市内の文化財について知り、興味をもつ機会をつくる。			トライやるウィーク希望生徒	5月25日～5月29日 6月1日～6月5日 6月8日～6月12日 11月9日～11月13日	4	延べ12	
		48	文化財関連冊子の刊行	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	市内の文化財を周知する	『芦屋の文化財ハンドブック』を2,000部増刷。			全市民及び歴史愛好家				
		49	文化財の指定・登録	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	市内の文化財を指定・登録し、保護・活用する	芦屋神社境内古墳を市指定文化財に指定した。			全市民及び歴史愛好家				
		50	『広報あしや』文化財関連記事の掲載	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア__地域の伝統的な文化の保存等	【12】文化財保護の充実等	「広報あしや」に市内の文化財関連記事を掲載し、啓発を図る。	「広報あしや」毎月1月号に「芦屋タイムトラベル」、12月1月号に文化財特集を掲載する。			市民				

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的实施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組									
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎をご記入ください)									
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)			
	参加者数	人		15		A	食育の取組を各校へ生かす。	研究会等で周知する。										
	後援名義の使用承認件数	件	170	175	増加	S		引き続き迅速かつ適正な事務処理に努めたい。										
0	承認件数	件	103	108	現状維持	A	提出書類が多く、手続きが煩雑	書類を簡素化し、より積極的な利用を目指す。										
0	利用割合	%	21	21	現状維持	A		減免制度の継続	◎	◎								
71	登録団体数	団体	337	317	現状維持	B	社会教育関係登録団体としての役割が理解されていない。	社会教育関係登録団体としての役割を理解いただき、活躍を促す。	◎	◎								
19	アンケートで役立ったと答えた人の割合	%	90	85	増加	B	各団体内の活動のみの現状維持がほとんどである。	団体相互の連携や協力を促し活性化を図る。										
	受講者数	人	205	623	現状維持	A		様々な文化財関連のテーマで講座を開き、市民に芦屋の歴史や文化財の魅力を知っていただく。	◎	◎							公民館	
	受講者数	人		45		A	高齢化により戦前・戦中の芦屋について知る市民が少なくなっている。	戦争体験者から聞き取った情報を将来に適切に継承できる方法を検討する。	◎	◎							公民館	
	展示回数	回	2	2	現状維持	A	何度も開催していくと、展示内容や方法が似通ってくる傾向がある。	文化財ボランティアとの協働をより一層積極的に行う。会場を市民センターから三条文化財整理事務所へ変更する。	◎					読売新聞	市民センター	文化財ボランティア 兵庫県立人と自然の博物館		
	受け入れ学校数	校	4	4	現状維持	A	内容が職業体験か、歴史学習なのか混同してしまうことがある。	作業の種類・内容の検討	◎								学校教育課	文化財ボランティア
268	刊行冊数	冊	1	1	現状維持	B		様々な種類の文化財に関して、わかりやすいパンフレットを刊行する。観光協会等にも活用してもらう。										
146	指定・登録件数	件	1	1	現状維持	A	指定物件が考古資料に偏っている。	様々な種類の文化財を指定・登録する。	◎	◎				毎日新聞 神戸新聞 読売新聞				
	掲載記事数	点	12	14	現状維持	A	高度に学術的・専門的な内容を市民が理解できるように、わかりやすく表現する必要がある。	本市の歴史や文化財の魅力を市民に知っていただけるよう、引き続き、文化財関連記事の掲載を続ける。	◎									

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票

課名	課長名	NO	イベント・講座・事業名称	新規・継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
					① 施策の柱	② 基本的な施策	③ 主な施策概要			イベント・講座等の実施内容		対象世代(誰向け)	実施期間	実施回数(回)	参加人数(人)
										イベント・講座名	実施内容				
広報国際交流課	鈴木和美	51	姉妹都市交流事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	イ_国内及び国外との交流の促進	【13】国際交流の推進	外国文化との交流	姉妹都市学生親善使節の相互派遣		市民				719
		52	潮芦屋交流センター事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	イ_国内及び国外との交流の促進	【14】多文化理解の推進	外国文化の理解	潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業	セミナー	文学セミナー	市民	4.5.6.9.10.11月	6	132
		53								コンサート	ハワイアン、バイオリン、吹奏楽	市民	7.9.3月	3	256
		54								世界の料理教室	世界各国の料理教室	市民		11	289
		55								ワールドフェスタ	世界の料理と音楽の祭典	市民	11月14日	1	230
		56								講演会	ラトビアの日として大使からの講演	市民	3月12日	1	104
		57								文化教室	華道・書道・茶道教室	外国人市民			179
		58								国際親善イベント	七夕・ひな祭り	外国人市民	7月4日.2月27日	2	118
経済課	船曳純子	59	あしや秋まつり	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	文化を通じて世代間交流	精道小学校校庭及び東側道路において	全世代	10月	1	—		
市民参画課	山田弥生	60	さくらまつり開催事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	支援・協力	さくらまつりへの支援・協力	芦屋さくらまつり	コミュニティの活性化とふるさとづくりの推進	全ての世代	4月4日～5日	1	14,000
生涯学習課	長岡一美	61	芦屋市文化遺産継承・活性化事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	文化遺産を活用して地域の活性化を図る	文化庁の補助事業「文化遺産を活かした地域の活性化事業」で、実行委員会がだんじり等の文化遺産を活用して地域の活性化を図る。	芦屋神社風篋復活巡航祭事業・打出地区の祭りに使用されるだんじりの用具の修理及び公開事業	市民	3月6日 3月24日	2	2,196	
		62	国指定史跡倉庫かやぶき屋根ふき替え体験会	新規	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ウ_地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	市内文化財の啓発	国指定史跡倉庫かやぶき屋根ふき替え体験会を開催する。	国指定史跡倉庫かやぶき屋根ふき替え体験会を開催する。	市民	3月12日	1	25	
教育委員会管理課	山川範	63	学校園施設目的外使用の許可	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	イ_学校施設・公共施設の活用	【19】学校施設・公共施設の文化活動の場としての活用	交流機会の促進	条例に定めるところにより、学校園施設の目的外使用の許可を行った。						
生涯学習課	長岡一美	64	コミュニティ・スクールへの活動支援事業	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	イ_学校施設・公共施設の活用	【19】学校施設・公共施設の文化活動の場としての活用	学校を拠点とする文化活動を通じたコミュニティの創造	市内9コミスクからなる連絡協議会と各コミスクに対する補助金や連絡調整等を行うことにより、世代間及び地域の交流事業や文化活動等のコミスク活動の支援を行う。						
学校教育課	荒谷芳生	65	なかよしフェスティバル	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	イ_学校施設・公共施設の活用	【19】学校施設・公共施設の文化活動の場としての活用	文化を通じて交流	公立幼稚園5歳児親子が体育館に集まり、ふれあい遊びや運動遊びを通して交流する。	なかよしフェスティバル	子育て世代の親子がふれあい活動を通してお互いの交流を図る。	親子	10月27日	1	720人
		66	芦屋市英語暗唱・スピーチコンテスト	新規	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	イ_学校施設・公共施設の活用	【19】学校施設・公共施設の文化活動の場としての活用	学校園における文化活動の紹介	中学生の英語暗唱や英語によるスピーチ発表		中学生生徒	11月9日	1	66人	
市民参画課	山田弥生	67	芦屋市芸術文化活動助成事業	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	エ_文化活動に対する支援	【23】活動している個人や団体に対して、より重点的・効果的な支援の充実	文化活動助成金	文化活動に関する支援						
		68	市民文化振興基金の啓発事業	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	オ_文化活動に対する民間支援活動の促進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	寄附の促進	ふるさと寄附金を活用した市民文化振興基金の啓発						
		69	民間支援活動の促進事業	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	オ_文化活動に対する民間支援活動の促進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	メセナ活動等の情報提供	メセナ活動等の情報提供						
市長室	今石佳太	70	芦屋市民文化賞	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	カ_顕彰の実施	【25】顕彰の実施	市民文化の向上発展	文化の向上に貢献された方への賞の贈呈	芦屋市民文化賞贈呈式	文化の向上に貢献された方への賞の贈呈	全て	11月1日	1	70
市民参画課	山田弥生	71	芦屋市芸術文化活動顕彰事業	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	カ_顕彰の実施	【25】顕彰の実施	顕彰の実施	文化活動に関する支援						
生涯学習課	長岡一美	72	富田碎花賞の開催	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	カ_顕彰の実施	【25】顕彰の実施	賞の開催	富田碎花賞を開催することにより、兵庫県文化の父・富田碎花を顕彰する。	富田碎花賞	H26.7～H27.6に刊行された現代詩集を募集し、受賞詩集を選考、賞を贈呈する。	全国の詩人			
		73	富田碎花旧居の公開	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	カ_顕彰の実施	【25】顕彰の実施	富田碎花旧居を公開し、富田碎花を顕彰	富田碎花が居住した旧居を碎花関連の資料とともに展示・公開することにより、兵庫県文化の父・富田碎花を顕彰する。		市民文学愛好家	週水・日曜日の2日公開	68	264	

3	4					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組						
	効果的実施が客観的に確認できる指標								掲載された広報媒体(該当箇所◎を記入ください)					協働した団体	
	指標名	単位	H26	H27	方向性				広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)
H27 事業費 (単位:千円)	参加者数	人	702	719	増加	B	事業内容の工夫	多くの市民が参加する事業にする。	◎	◎	◎			広報国際交流課	NPO法人芦屋市国際交流協会
137	参加者数	人	160	132	増加	B	事業内容の工夫	事業を通じて多文化共生につなげる。	◎		◎	◎			NPO法人芦屋市国際交流協会
126	参加者数	人	286	256	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。	◎		◎	◎			NPO法人芦屋市国際交流協会
512	参加者数	人	249	289	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。	◎			◎			NPO法人芦屋市国際交流協会
110	参加者数	人	347	230	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。	◎						NPO法人芦屋市国際交流協会
70	参加者数	人	110	104	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。	◎			◎			NPO法人芦屋市国際交流協会
111	参加者数	人	93	179	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。							NPO法人芦屋市国際交流協会
138	参加者数	人	40	118	増加	B	より充実した内容にしていく。	事業を通じて多文化共生につなげる。							NPO法人芦屋市国際交流協会
3,110	参加者数	人	中止	5500	増加	A	あしや三大まつりとしての総合的な情報発信	他課の参加するイベントでの情報発信	◎	◎	◎	◎	商工会会報		あしや秋まつり協議会
3,514	参加者数	人	15,500	14,000	現状維持	A	開催のための協賛金が集まらなくなっている。	収入に見合った開催方法を検討する。	◎	◎		◎	新聞		芦屋さくらまつり協議会
0 (実行委員会 10,324)	申請件数	件	1	1	現状維持	A		当該補助事業に積極的に申請し、文化遺産を活用した地域活性化事業を展開する。					神戸新聞		芦屋神社氏子青年会 打出総代会地車保存会
5	参加人数	人		25		A		茅葺の葺き替えは、15~20年に1回必要なので、将来も実施すべきである。	◎	◎			朝日新聞 神戸新聞		茅葺職人相良育弥氏
	目的外使用の許可件数	件	214	202	現状維持	A	学校園の運営上支障がない範囲という原則を踏まえつつ、いかに市民のかたに活動の場を提供できるかという調整を図ること。	引き続き迅速かつ適正な事務処理に努める。							
2,659	コミスクが実施した地域交流事業等の参加人数	人			現状維持	A		他団体との連携を図りながら安定した事業の実施を継続する。	◎						
68	参加者数	人				A	様々な人との関わりを楽しませたい。	親子が一緒に遊ぶことを楽しみ、人との関わりの大切さを伝える。					開催案内を保護者に配布		—
31	参加者および来場者数	人		66		B	参加者・来場者を増やす。	広く広報する。							兵庫県立芦屋国際中等教育学校
135	件数	件	5	7	現状維持	B		要綱を改正し、助成の対象を広げた。	◎	◎					
0	件数	件	1	15	増加	A		啓発活動の継続	◎	◎			新聞	政策推進課	
0						B	市民活動センターでの助成金の案内のみになっている。	引き続き情報提供を続ける。							
180	市民注目度				増加	S	潜在候補者の発掘	27年度から実施した市民文化賞受賞者による文化活動事業の促進	◎	◎	◎		神戸新聞他	経済課	菊寿会(市民文化賞受賞者の会)
62	件数	件	8	6	現状維持	B		要綱を新設し、顕彰の対象を広げた。	◎	◎					
517	応募詩集数	冊	142	128	増加	B	応募詩集数を増やすため、募集案内や選考の発表方法などについて検討する必要がある。	引き続き、現代詩の代表的な賞であり続けるよう、選考の質を維持する。	◎	◎			神戸新聞 朝日新聞		富田碎花顕彰会
581	見学者数	人	553	264	増加	B	富田碎花旧居の存在があまり知られていない。	富田碎花旧居で様々な事業を展開することによって、見学者数の増加させ、富田碎花の顕彰に繋げる。	◎	◎			美術博物館	富田碎花顕彰会	

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:美術博物館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント・事業名	新規・継続	1			目的	実施内容	2					
			文化振興基本計画(体系)における位置づけ					内訳表					
			① 施策の柱	② 基本的な施策	③ 主な施策概要			イベント・講座等の実施内容	対象世代(誰向け)	実施期間	実施回数(回)	参加人数(人)	
													実施内容
1			①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	芦屋市展 芦屋の歴史と文化財 展	芦屋市展	幅広い世代	4月4日～5月10日	1	2,689		
			①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供		芦屋の歴史と文化財 展						
2						阪神沿線の文化110年 モダンアートクロニクル アート、ファッション、建築からたどる芦屋の芸術 展 及び関連事業	阪神沿線の文化110年 モダンアートクロニクル アート、ファッション、建築からたどる芦屋の芸術 展 建築見学会	幅広い世代	5月23日～8月2日	1	2,253		
							「①打出モダニズムコース ②芦屋川の文化的景観コース」						
							コンサート「芦屋モダニズムに思いを馳せて」	幅広い世代	6月14日	1	60		
							茶話会「芦屋を楽しむ茶話会」	幅広い世代	6月28日	1	37		
							見学会「阪神電車わくわく探検ツアー」	小・中学生及びその保護者	7月30日	1	10		
							学芸員によるギャラリートーク	幅広い世代	5月30日 6月27日 7月18日	3	22		
							浮世絵恋物語—浮いた話のひとつふたつ 展	幅広い世代	8月12日～11月15日	1	4,038		
3	展示事業(関連事業としての講座・講演、ワークショップを含む)	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	美術や歴史資料等の活用を図った市民文化の向上	浮世絵恋物語—浮いた話のひとつふたつ 展 及び関連事業	幅広い世代	9月20日	1	70		
							コンサート「マリンバデュオとピアノ、歌と言葉で紡ぐコンサート いにしえの恋物語に魅せられて」						
							出前講座(市民センター)「浮世絵恋物語」	幅広い世代	9月5日	1	50		
							講演会「上方浮世絵の世界」	幅広い世代	9月12日	1	33		
							「木版画を摺ってみよう」	幅広い世代	10月4日	1	15		
							講座「浮世絵から読み解く江戸時代の恋物語」	幅広い世代	10月12日	1	26		
							シリーズ講座「浮世絵恋物語」①-④	幅広い世代	8月30日 9月6日 10月31日 11月15日	4	89		
4						戦後のボーダレス—前衛陶芸の貌 展 及び関連事業	戦後のボーダレス—前衛陶芸の貌 展	幅広い世代	11月28日～翌年2月7日	1	1,797		
							昔の暮らし—江戸時代ってどんな時代? 展						
							見学会「訪問!京都市科・清水焼の郷 清水団地」	幅広い世代	1月24日	1	16		
							学芸員によるギャラリートーク	幅広い世代	12月12日 1月30日	2	16		
							講演会「四耕会の頃から—70年の陶歴」	幅広い世代	12月6日	1	55		

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果の実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組						
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎を記入ください)				協働した団体		
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)
23,658	参加者数	人	—	2,689	増加	A	入館者層の固定化	気軽に芸術に親しむきっかけ作りの促進	◎	◎		◎	毎日、神戸新聞、日本美術倶楽部、和楽	市民センター・図書館・谷崎酒郎記念館	阪神間美術館・博物館 他
再掲 23,658															
再掲 23,658	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合) H26年度 art trip vol.1 窓の外、恋の旅。/風景と表現展	%	96	90	増加	A	入館者層の固定化	芸術家との交流や徹底した情報収集等を通して「芸術の感動、楽しさ」を伝える企画展の開催	◎	◎		◎	朝日、読売、毎日、産経、神戸、日本経済各新聞	市民センター・図書館・谷崎酒郎記念館	主に西日本全域の美術館・博物館 他
再掲 23,658	参加者数	人		45											
再掲 23,658	参加者数	人	93	60	増加										
再掲 23,658	参加者数	人		37											
再掲 23,658	参加者数	人	11	10	増加										
再掲 23,658	参加者数	人	16	22	増加										
再掲 23,658	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合) H26年度 世界を魅了したやまとなでしこー浮世絵美人帖展	%	96	94	増加										
再掲 23,658	参加者数	人		70											
再掲 23,658	参加者数	人		50		A	入館者層の固定化	◎	◎		◎	朝日、読売、毎日、産経、神戸、日本経済各新聞	市民センター・図書館・谷崎酒郎記念館	主に西日本全域の美術館・博物館 他	
再掲 23,658	参加者数	人	32	33	増加										
再掲 23,658	参加者数	人	21	15	増加										
再掲 23,658	参加者数	人		26											
再掲 23,658	参加者数	人		89											
再掲 23,658	参加者数	人													
再掲 23,658	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合) H26年度 GUTAI x INTERNATIONAL 具体、海を渡る。展	%	91	85	増加	A	入館者層の固定化	◎	◎		◎	産経、神戸新聞、和楽、美術の窓	市民センター・図書館・谷崎酒郎記念館	主に西日本全域の美術館・博物館 他	
再掲 23,658	参加者数	人		16											
再掲 23,658	参加者数	人	17	16	増加										
再掲 23,658	参加者数	人	30	55	増加										
再掲 23,658	参加者数	人													

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:美術博物館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント 事業 名称	新規 ・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
			① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 施策 概要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
								イベント・講座名	実施内容				
4							ワークショップ 「粘土で果 物、野菜をつ くる」	幅広い世代	12月23日	1	18		
							講演会 「陶芸と前 衛」	幅広い世代	1月17日	1	17		
5			①市民の自主 的な文化活動 の推進	ア 市民の文化 活動の充実	【3】市民の文 化活動や発表 する機会の確保	芸術文化に 触れ、こころ がこころが できる環境 づくり	芦屋市造形教育 展 昔の暮らし—江戸時代ってどんな 時代?展	幼稚園児～ 中学生	2月20日 ～ 2月28日	1	4,175		
			①市民の自主 的な文化活動 の推進	ア 市民の文化 活動の充実	【2】市民の鑑 賞機会の提供	歴史資料 等の活用 を図った 市民文化 の向上	昔の暮らし— 江戸時代って どんな時代? 展	幅広い世代					
6	講演、講座等	継続	①市民の自主 的な文化活動 の推進	ア 市民の文化 活動の充実	【1】文化に対 する関心、理 解を深めるた めの普及啓発	生涯学習 の機会及 び場の提 供	古文書講座	幅広い世代	4月11日	1	13		
							講演会 「河川龍夫に よる芸術的 思考をめぐ って」	幅広い世代	2月6日	1	50		
7	ワークショップ 等	継続	③文化の振興 と再生を図 るための環 境づくりの 推進	ア 市の文化施 設の充実	【17】市の文 化施設の機 能の充実	芸術文化 に触れ、こ ころがこ ころが できる環 境づくり	各展覧会内容には特化せず、館 独自の教育普及プログラムの企 画及び展開 【ひはくルーム】	ひはくルーム 「MARK IN THE CITY」	幅広い世代	4月26日	1	18	
							ひはくルーム 「SWING BY」	幅広い世代	6月6日	1	14		
							ひはくルーム 「あなたがモ デル—キメ キメファッ ションフォ ト」	小・中・高 校生	8月1日 8月29日	2	72		
							ひはくルーム 「光る彫刻を つくろう」	小学生以上	8月23日	1	50		
							ワークショップ 「土器をつ くろう」	幅広い世代	8月26日	1	121		
							「先生のため のミュージ アム活用術」	教員	10月25日	1	23		
							ひはくルーム 「本格的な銅 版画に挑戦 しよう」	中学生以上	12月6日	1	12		
							ひはくルーム 「モニター ジュ写生」	幅広い世代	12月19日	1	8		
							ひはくルーム 「曖昧な境界 (線)に触 れる」—ゴ マをする	幅広い世代	2月28日	1	11		
							ひはくルーム 「美術と音 楽の一日 rooms」	幅広い世代	3月5日	1	465		
8			②固有の文化 資源を活用 した地域 づくりの推 進	ア 地域の伝統 的な文化の 保存等	【11】伝統 的な文化の 普及啓発、 鑑賞機会 等の提供		美術寄席	幅広い世代	5月2日	1	150		
9							寶達巡行	幅広い世代	5月29日	1	53		
10			①市民の自主 的な文化活動 の推進	ウ 青少年の文 化活動の充 実	【7】青少年 の文化活動 の体験機 会の提供	芸術文化 に触れ、こ ころがこ ころが できる環 境づくり	前庭 ひまわ り 種まき会	幼稚園児	6月12日 7月14日 7月31日	3	163		
11							博物館実習	大学生	8月18日 ～ 8月22日	1	7		
12			①市民の自主 的な文化活動 の推進	ア 市民の文化 活動の充 実	【1】文化に 対する関心、 理解を深 めるための 普及啓発		美術夏祭り	幅広い世代	8月22日	1	780		
13			①市民の自主 的な文化活動 の推進	ウ 青少年の文 化活動の充 実	【7】青少年 の文化活動 の体験機 会の提供	体験の場、 出会いの 場を創出 する	トライやる・ ウィーク	中学生	11月10日 ～11月14 日	1	8		
14	その他事業	継続	①市民の自主 的な文化活動 の推進	ア 市民の文化 活動の充 実	【2】市民の鑑 賞機会の提供	心豊かで 活力ある 地域社会 の創出と その繋が り	コンサート 「この町が好 き」	幅広い世代	1月23日	1	40		

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組									
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎を記入ください)									
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)			
再掲 23,658	参加者数	人		18														
再掲 23,658	参加者数	人		17														
再掲 23,658	参加者数	人	4,782	4,175	増加	B	対象者の認知度が低い。	周知先・周知方法等の改善	◎	◎		◎		市民センター・図書館・谷崎酒一朗記念館	阪神間美術館・博物館 他			
再掲 23,658						B	入館者層の固定化	繰り返し訪れても新たな発見が得られるような創造的事業の展開を図る。常設展示の企画展化							手づくり手帖、和楽			
再掲 23,658	参加者数	人		13		A	入館者層の固定化	生涯学習に係る更なるメニューの提供を図る。	◎	◎		◎		市民センター・図書館・谷崎酒一朗記念館	阪神間美術館・博物館 他			
再掲 23,658	参加者数	人		50														
再掲 23,658	参加者数	人		18		A	入館者層の固定化	気軽に芸術に親しむきっかけ作りの促進	◎	◎		◎	神戸新聞	市民センター・図書館・谷崎酒一朗記念館	阪神間美術館・博物館 他			
再掲 23,658	参加者数	人		14														
再掲 23,658	参加者数	人		72														
再掲 23,658	参加者数	人		50														
再掲 23,658	参加者数	人	5	121	増加													
再掲 23,658	参加者数	人		23														
再掲 23,658	参加者数	人		12														
再掲 23,658	参加者数	人		8														
再掲 23,658	参加者数	人		11														
再掲 23,658	参加者数	人		465														
再掲 23,658	参加者数	人	150	150	現状維持					入館者層の固定化	各種広報媒体を利用して、当事業のPRに努める							
再掲 23,658	参加者数	人		53						企画・事業の継承	文化を醸成する機運の高揚	◎	◎		◎	新聞各社		
再掲 23,658	参加者数	人		163														
再掲 23,658	対象者数	人	10	7	増加													
再掲 23,658	参加者数	人	566	780	増加		入館者層の固定化	気軽に芸術に親しむきっかけ作りの促進	◎	◎		◎	市民センター・図書館・谷崎酒一朗記念館	阪神間美術館・博物館 他				
再掲 23,658	対象者数	人	8	8	現状維持	A												
再掲 23,658	参加者数	人	32	40	増加			文化を醸成する機運の高揚	◎	◎		◎	新聞各社	市民センター・図書館・谷崎酒一朗記念館	阪神間美術館・博物館 他			

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:美術博物館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	1			目的	実施内容	2					
			文化振興基本計画(体系)における位置づけ					内訳表					
			① 施策 の柱	② 基本 的 な 施策	③ 主 な 施策 概要			イベント・講座名	実施内容	対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
15					幼少者を 対象とし た文化鑑 賞の機会 の提供	人形劇 芦屋 フェスタ	人形劇の他、紙芝 居、マジック、歌等 を実施	幼少者及び 保護者	1月31日	1	151		
16					心豊かで 活力にあ る地域社 会の創出 とその繁 がり	東日本震災メ モリアル「雪 解けコンサ ート」		幅広い世代	3月13日	1	60		
17						アートマー ケット 「つくる場」		幅広い世代	5月2日 5月3日 10月17日 10月18日	4	6,987		
18					体験の 場、出会 いの場を 創出する とともに 芸術家の 育成支援	「てるてる坊 主をつくら う」		幼稚園児	4月22日 4月23日	2	87		
19						「でかいクジ ラがやってき たーミロコマ チコさんと大 きな絵を描こ う」		幅広い世代	5月2日	1	80		
20						「自分だけ かぶりもの をつくらう」		幅広い世代	5月3日	1	20		
21						「工作 野菜 づくり」		幅広い世代	10月14日	1	85		

3	4					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6	7	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組									
	効果的実施が客観的に確認できる指標								文化面での課題	文化面での今後のビジョン	掲載された広報媒体(該当ところ◎をご記入ください)							
	指標名	単位	H26	H27	方向性						広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)	
H27 事業費 (単位:千円)																		
再掲 23,658	参加者数	人	78	151	増加		企画・事業の継承	後継者育成との観点で事業内容等を検討していきたい。	◎	◎		◎	新聞各社	市民センター・図書館・谷崎潤一郎記念館	阪神間美術館・博物館 他			
再掲 23,658	参加者数	人	223	60	増加			文化を醸成する機運の高揚										
464	参加者数	人	3,236	6,987	増加	S	参加者の固定化	周知先・周知方法等の改善	◎	◎		◎	新聞各社	市民センター・図書館・谷崎潤一郎記念館	阪神間美術館・博物館 他			
再掲 464																		
再掲 464																		
再掲 464																		
再掲 464																		

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:谷崎潤一郎記念館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント 講座名 事業名	新規・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
			① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
								イベント・講座名	実施内容				
1	ロビーギャラ リー	継続	①市民の自主的 な文化活動の推 進	ア 市民の文化 活動の充実	【1】文化に対 する関心、理解を深 めるための普及 啓発	多様化・ 高度に専 門化した 館利用者 の学習 ニーズに 対応	谷崎の生きた 阪神間	大正から昭和初期の 阪神間の写真や地図 を展示。「阪神沿線 の文化110年展」参 加事業。	幅広い世代	3月28日 ～6月28 日	1		
							田中佐和子 「陶展」～灰 釉と焼ペII～	陶芸家・田中佐和子 の作品を展示	幅広い世代	7月4日～ 7月26日	1		
							夏の古書店	谷崎を中心とした日 本近代文学の古書を 販売	幅広い世代	7月29日 ～8月2日	1		
							渡邊貞子、松 長大樹、湊久 仁子グループ 展 「土と木とガ ラスの饗宴」	陶芸、木工、ガラス 作家の作品を展示	幅広い世代	8月7日～ 9月6日	1		
							大世晃偉写真 展 「豊穡の使 い、狐」	芦屋市在住の写真 家・大世晃偉の作品 を展示	幅広い世代	9月12日 ～10月29 日	1		
							永坂嘉光の世界 「空海千二百 年の寝さ」	写真家・永坂嘉光の 作品を展示	幅広い世代	11月3日 ～12月6 日	1		
					赤井稚佳原画 展 「草花たちの 静かな望み」		イラストレーター・ 赤井稚佳の作品を展 示	幅広い世代	12月12日 ～翌年1 月24日	1			
					早春に舞う 「仲良し4人の 絵手紙展」		絵手紙作家の坪田千 鶴子、岸岡あつ子、 大森典子、永重信江 の作品を展示	幅広い世代	1月27日 ～2月28 日	1			
					谷崎館講座受 講生作品展 「フラッシュ ライティン グ」		カリグラフィー講座 の講師と受講生の作 品を展示	幅広い世代	3月2日～ 3月6日	1			
					谷崎館講座受 講生作品展 「仏画」		仏画講座の講師と受 講生の作品を展示	幅広い世代	3月2日～ 3月6日	1			
					谷崎館講座受 講生作品展 「スケッチ」		スケッチ講座の講師 と受講生の作品を展 示	幅広い世代	3月9日～ 3月13日	1			
					谷崎館講座受 講生作品展 「“ほっこり” 書で遊ぶ」		“ほっこり”書で遊 ぶ講座の講師と受講 生の作品を展示	幅広い世代	3月16日 ～3月21 日	1			
					谷崎館講座受 講生作品展 「しあわせを 呼ぶ絵手紙」		絵手紙講座の講師と 受講生の作品を展示	幅広い世代	3月24日 ～3月27 日	1			
2	ロビーギャラ リートーク	継続	①市民の自主的 な文化活動の推 進	ア 市民の文化 活動の充実	【1】文化に対 する関心、理解 を深めるための 普及啓発	多様化・ 高度に専 門化した 館利用者 の学習 ニーズに 対応	田中佐和子 ギャラリー トーク		幅広い世代	7月5日	1	9	
							南山進流声 明・永坂嘉光 スライド ショー		幅広い世代	11月3日	1	30	
							神護寺住職講 演・永坂嘉光 スライド ショー		幅広い世代	11月8日	1	28	
							フォトディレ クタートー ク・永坂嘉光 スライド ショー		幅広い世代	11月26日	1	15	
							赤井稚佳ギャ ラリートーク		幅広い世代	12月13日	1	16	
井上正三ギャ ラリートーク		幅広い世代	3月13日	1	31								

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組					
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎をご記入ください)					
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)
5,250	開催事業件数	件	8	13	増加	A	入館者層の固定化	各種広報媒体を利用して、谷崎潤一郎記念館の認知度を上げる。	◎	◎		読売新聞	図書館・美術博物館	
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250	参加者数	人	106	129	増加	A	入館者層の固定化	各種広報媒体を利用して、谷崎潤一郎記念館の認知度を上げる。	◎	◎			図書館・美術博物館	
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														
再掲 5,250														

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:谷崎潤一郎記念館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
			① 施策 の柱	② 基本 的な 施策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対 象 世 代 (誰 向 け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
								イベント・講座名	実施内容				
3	文学館講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	多様化・高度に専門化した館利用者の学習ニーズに対応	源氏物語講座		幅広い世代	毎月第3金曜日	11	759	
							「枕草子」を読む講座		幅広い世代	毎月第2木曜日	12	229	
							俳句講座		幅広い世代	毎月第4土曜日	12	97	
							スケッチ講座(水曜クラス)		幅広い世代	毎月第2・4水曜日	24	233	
							スケッチ講座(金曜クラス)		幅広い世代	毎月第1・3金曜日	24	164	
							ちょっといい文章書いてみませんか講座		幅広い世代	毎月第4水曜日	12	135	
							白磁上絵付講座		幅広い世代	毎月第1・3土曜日	20	216	
							ほっこり書講座		幅広い世代	毎月第3水曜日	10	65	
							短歌講座		幅広い世代	毎月第3火曜日	12	48	
							真田三代物語		幅広い世代	毎月第4木曜日	12	155	
							茶花講座(水曜)		幅広い世代	毎月第1水曜日	3	14	
							茶花講座(木曜)		幅広い世代	毎月第1木曜日	4	30	
							季語から始める俳句レッスン		幅広い世代	毎月第2土曜日	12	124	
							筆で描くカリグラフィ講座		幅広い世代	毎月第1金曜日	12	70	
							幸せを呼ぶ絵手紙講座		幅広い世代	毎月第1土曜日	12	97	
							仏画講座		幅広い世代	毎月第2土曜日	12	53	
初歩からの朗読講座		幅広い世代	毎月第1木曜日	10	94								
朗読ワークショップ		幅広い世代	毎月第3木曜日	9	67								
4	1日講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文化の体験の機会提供	ミニ笹飾りを作ります		幅広い世代	6月21日	1	8	
5	現地講座	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	谷崎潤一郎旧邸めぐり		幅広い世代	①10月4日、16日 ②10月10日、23日	2	47	
6	朗読会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	多様化・高度に専門化した館利用者の学習ニーズに対応	第1回 「文豪の言い過ぎたこと」～「癡癡老人日記」の世界～		幅広い世代	4月25日	1	20	
							第2回 「世にも奇妙な物語」～「金色の死」「人面疽」ほか～		幅広い世代	7月18日	1	1	
							第3回 「私たちはいつも新しい」～女性と時代と文学と～		幅広い世代	10月17日	1	24	
							第4回 「『細雪』の世界に浸るV」～「東京」はお嫌いですか？谷崎さん～		幅広い世代	翌年1月16日	1	34	
7	特別イベント	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	谷崎映画名作選「春琴抄」上映会		幅広い世代	4月18日	2	491	
8	特別行事	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア__市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	文学を基盤とした市民文化の向上	第29回残月祭「谷崎文学への招待」		幅広い世代	7月24日	1	260	

3	4					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6	7	8				
	効果的実施が客観的に確認できる指標								広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組				
	掲載 5,250 (単位:千円)	指標名	単位	H26	H27				方向性	掲載された広報媒体(該当ところ◎を記入ください)	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ
再掲 5,250	受講者数	人	769	759	増加	A	受講者の固定化	各種広報媒体を利用して、谷崎潤一郎記念館の認知度を上げ、新たな入館者層の拡大・受講者の増加を図る	◎	◎		読売新聞	図書館・美術博物館
再掲 5,250	受講者数	人	257	229	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	92	97	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	220	233	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	194	164	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	105	135	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	168	216	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	64	65	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	45	48	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	—	155	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	24	14	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	46	30	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	74	124	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	73	70	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	66	97	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	57	53	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	77	94	増加								
再掲 5,250	受講者数	人	69	67	増加								
再掲 5,250	参加者数	人	36	8	増加	A	学習意欲の向上及び継続性	多種多様な学習機会の提供及び学習活動の支援	◎	◎		読売新聞	図書館・美術博物館
再掲 5,250	参加者数	人	34	47	増加	A	学習意欲の向上及び継続性	多種多様な学習機会の提供及び学習活動の支援	◎	◎		読売新聞	図書館・美術博物館 新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等
再掲 5,250	参加者数	人	124	79	増加	B	受講者の固定化	学習活動の支援	◎	◎		読売新聞	図書館・美術博物館
再掲 5,250													
再掲 5,250													
再掲 5,250													
再掲 5,250	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合)	%	—	97	増加	B	入館者層の固定化	メディア芸術の原点である映画を利用し、谷崎文学愛好者の拡大に努める。	◎	◎		読売、朝日、毎日、産経、神戸各新聞 他	新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等
再掲 2,314	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合)	%	98	90	増加	A	入館者層の固定化	谷崎文学の理解を深め、学習意欲の向上を図る。	◎	◎		読売、朝日、毎日、産経、神戸各新聞 他	図書館・美術博物館 新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:谷崎潤一郎記念館)

課長名 長岡 一美

NO	イベント 講座 事業 名称	新規 ・ 継続	1 文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	2					
			① 施策 の柱	② 基本 的 な 施策	③ 主 な 施策 概要		実施内容	内訳表				
								イベント・講座等 の実施内容	対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
9	展示事業	継続	①市民の自主的 な文化活動の推 進	ア_市民の文化 活動の充実	【2】市民の鑑賞 機会の提供	文学を基 盤とした 市民文化 の向上	谷崎文学に影響を与えた最初の妻 の千代、その妹のせい子、2番目 の妻の丁未子、最後の妻の松子、 甥の妻の千萬子に焦点を当てた大 回顧展	春の特別展 「大谷崎展」 ～文豪と五人 の女神～	幅広い世代	3月28日 ～6月28 日	1	
							谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学 を、遺愛品、初版本、書簡、写真 などの資料を通して紹介。特設展 示では、79年の生涯の最後まで生 きることに貪欲だった文豪の素顔 を伝えた。	夏の通常展 「谷崎潤一郎 人と作品」 特別展示 「大谷崎の大 往生」	幅広い世代	7月4日～ 9月6日	1	
							谷崎文学の挿絵や装画を描いた美 術家の原画を中心に展示。小出楢 重、上村松篁、棟方志功、小磯良 平、鍋木清方など美術史に残る巨 匠たちの作品と、谷崎文学のコー ラレーションを紹介した。	秋の特別展 「大谷崎と挿 絵の世界」 ～楢重、松 篁、棟方など ～	幅広い世代	9月12日 ～12月6 日	1	
							谷崎潤一郎の生涯及び谷崎文学 を、遺愛品、初版本、書簡、写真 などの資料を通して紹介。特設展 示では、大正時代に自らシナリオ を書いて4本の映画を完成させた 映画との関わりをたどった。	冬の通常展 「谷崎潤一郎 人と作品」 特設展示 「銀幕の文 豪・谷崎潤一 郎」	幅広い世代	12月12日 ～翌年3 月27日	1	
10	谷崎潤一郎賞特 別記念講演会の 開催	継続	③文化の振興と 再生を図るため の環境づくりの推 進	カ_顕彰の実施	【25】顕彰の実施	谷崎文学 の拠点と して文化 振興に寄 与	中央公論新社主催「谷崎潤一郎 賞」の受賞者を講師として、講演 会を開催する。	中央公論新社主催 「谷崎潤一郎賞」の 受賞者を講師とし て、芦屋ルナ・ホー ルで講演会を開催す る。	市民及び全 国の文学愛 好者	11月26日	1	533

3	4					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6	7	8							
	効果的実施が客観的に確認できる指標								文化面での課題	文化面での今後のビジョン	広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組					
	(単位:千円)	指標名	単位	H26	H27						方向性	掲載された広報媒体(該当箇所◎をご記入ください)				
広報あしや						市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)		他の団体(団体名等)				
H27 事業費	効果的実施が客観的に確認できる指標					A	文化面での課題 収集資料の管理・保存・独自性に富んだ事業への活用	文化面での今後のビジョン 資料の適切な保存方法及び同資料に基づく知的好奇心・学習意欲の高揚を図る方策の検討	◎	◎	◎	◎	読売、朝日、毎日、産経、神戸各新聞 他	図書館・美術館	新宮市立佐藤春夫記念館、虚子記念文学館、日本近代文学館等	
2,314	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合)	%	93	93	増加											
再掲 2,314																
再掲 2,314	アンケートの満足度(満足と答えた人の割合)	%	84	93	増加											
再掲 2,314																
517	参加者数	人	262	533	現状維持	A	谷崎賞受賞者の知名度によって、参加者数が大きく増減する。	引き続き実施し、芦屋市から発信する文化事業として定着を図る。	◎	◎		◎	読売新聞	谷崎潤一郎記念館(指定管理者) 中央公論社、読売新聞社、大阪よみうり文化センター		

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(市民センター/公民館)

課長名

高田浩志

NO	イベント・講座等 事業名称	新規・継続	1			目的	実施内容	2						
			文化振興基本計画(体系)における位置づけ					内訳表						
			① 施策の柱	② 基本的な施策	③ ③ 主な 施策概要			イベント・講座等の実施内容	対象世代 (誰向け)	実施 期間	実 回数 (回)	参 加 数 (人)		
													イベント・講座名	実施内容
1	講座・セミナー 学級・音楽会等 の開催	継続	①市民の自主的 な文化活動の推 進	ア市民の文化 活動の充実	【1】文化に対 する関心、理解を深 めるための普及 啓発	さまざま な学習機 会の提 供、音楽 鑑賞機 会の提供	市民の学習ニーズ及び市の教育方 針に基づいて、講座・セミナーな どを実施、公民館音楽室などでの コンサートを開催する。	歴史を探る Part21	歴史講座	全世代	4月3日～ 9月11日	6	延べ627	
								健康ハイキン グ—桜の名所 と文化探訪	ハイキング講座	全世代	4月7日～ 6月30日	8	延べ170	
								阪神間・街か どウォッチン グ	街歩き講座	全世代	4月9日～ 5月7日	4	延べ74	
								芦屋病院公開 講座	市立芦屋病院と共催 する健康講座	全世代	4月11日 ～9月12 日	6	延べ322	
								田辺真人先生 の文化の歴史 講座	歴史講座	全世代	4月15日 ～9月9日	6	延べ411	
								世界はニュー スだけではわ からない	時事講座	全世代	4月18日 ～9月19 日	6	延べ642	
								<初心者向け >パソコン講 座	パソコン講座	中高年世代	5月15日 ～6月5日	4	延べ52	
								芦屋の街かど ウォッチング	街歩き講座	全世代	5月28日 ～ 6月11日	3	延べ59	
								芝垣哲夫先生 と行く歴史と 文化のアメリカ 旅行	地理講座	全世代	9月12日 ～9月26 日	3	延べ172	
								阪神間の街か どウォッチン グ	街歩き講座	全世代	10月2日 ～11月6 日	5	延べ78	
								芦屋病院公開 講座	市立芦屋病院と共催 する健康講座	全世代	10月3日 ～3月12 日	6	延べ384	
								健康ハイキン グ—紅葉の名 所と文化探訪	ハイキング講座	全世代	10月6日 ～12月1 日	8	延べ165	
								日本古代国家 誕生の謎を解 き明かす—考 古学からみた 最新倭国形成 論	歴史講座	全世代	10月8日 ～11月5 日	4	延べ382	
								サイエンス・ トピックス 2015—先端生 命科学を考え る	自然科学講座	全世代	10月10日 ～10月31 日	3	延べ199	
								田辺真人先生 の文化の歴史 講座	歴史講座	全世代	10月14日 ～3月2日	6	延べ424	
								世界はニュー スだけではわ からない	時事講座	全世代	10月17日 ～3月19 日	6	延べ604	
								歴史を探る Part22	歴史講座	全世代	10月23日 ～3月11 日	6	延べ648	
日本の源流・ 神話を訪ねて —古事記はこ んなに面白い	歴史講座	全世代	2月20日 ～2月27 日	2	延べ189									
阪神間モダン イズムと芦屋・ 西宮・尼崎	地域文化講座	全世代	3月3日～ 3月24日	4	延べ241									

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組										
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当箇所◎をご記入ください)										
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)				
7,526	参加者数	人	延べ649	延べ627	現状維持	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ248	延べ170	現状維持	A	現業務委託業者の担当者の力によるところが大きい。	担当者が不在となった場合、事業実施が困難となる。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ74	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ627	延べ322	現状維持	B	講座で取り上げる病気・テーマにより参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を行う必要がある。	◎	◎									市立戸屋病院
上記に含まれる	参加者数	人	延べ440	延べ411	現状維持	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ592	延べ642	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ87	延べ52	現状維持	A	受講者にレベル差があるため、どのレベルをターゲットにするかが難しい。	常に受講者のニーズに気を付ける。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ59	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ220	延べ172	現状維持	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ78	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ405	延べ384	現状維持	A	講座で取り上げる病気・テーマにより参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を講座を行う必要がある。	◎	◎									市立戸屋病院
上記に含まれる	参加者数	人	延べ158	延べ165	現状維持	A	現業務委託業者の担当者の力によるところが大きい。	担当者が不在となった場合、事業実施が困難となる。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ382	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ199	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ388	延べ424	現状維持	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ558	延べ604	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人	延べ617	延べ648	現状維持	A		基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ189	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									
上記に含まれる	参加者数	人		延べ241	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(市民センター/公民館)

課長名

高田浩志

NO	イベント・講座名	新規・継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
			① 施策の柱	② 基本的な施策	③ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺			イベント・講座等の実施内容		対象世代(誰向け)	実施期間	実施回数(回)	参加人数(人)
								イベント・講座名	実施内容				
1	講座・セミナー・学級・音楽会等の開催	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	さまざまな学習機会の提供、音楽鑑賞機会の提供	市民の学習ニーズ及び市の教育方針に基づいて、講座・セミナーなどを実施、公民館音楽室などのコンサートを開催する。	民俗学への招待一躍動する東南・南アジア	民俗学講座	全世代	3月4日～3月25日	3	延べ218
								芦屋大学公開講座 Part11—今、スポーツについて考える	芦屋大学と共催する健康講座	全世代	3月12日～3月26日	2	延べ35
								阪神間の街かどウォッチング	街歩き講座	全世代	3月15日～3月29日	3	延べ59
								にほんごがっきゅう	日本語の会話、読み書き	主に外国人	通年	50	延べ191
								講演会・セミナー等		全世代		15	延べ1,373
								NHK公開セミナー等の共催事業		全世代		4	延べ2,346
								公民館・子ども教室		親子、子ども		21	延べ815
								六車智香「母の日コンサート」	六車智香 他	全世代	5月9日		113
								みんなで考えよう「平和と人権」オープニングコンサート&公民館音楽会「心をつなぐコンサート」	藤島章子、あしやY0 コーラス 他	全世代	7月19日		453
								みんなで考えよう「平和と人権」戦後70年・非核平和都市宣言30周年記念サマーコンサート	李亜輝 他	全世代	8月2日		112
								芦屋川カレッジ創立30周年記念&秋の公民館講座開講記念事業 燐文名曲コンサート	燐儀文、ヴィタリ・ユシュマノフ 他	全世代	10月5日		620
								北浦洋子&坂本恵子&皆川隼人「室内楽の愉しみ」	北浦洋子、坂本恵子、皆川隼人	全世代	11月28日		88
								マリンバとバイオリンによるクリスマス・コンサート	張明珠、辻村菜美	全世代	12月19日		86
スプリング・コンサート	藤田果苗、木村孝夫、佐田めぐみ	全世代	3月5日		104								
2	常設展示事業・公民館ギャラリー	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	さまざまな学習機会の提供		常設展示事業	① 7.18～ 8.15 みんなで考えよう平和展 ② 8.17～ 9. 2 夏休み・公民館子ども教室の写真展 ③ 9.16～ 9.28 芦屋のペット、大集合展&近畿地方にきた迷鳥と珍鳥展 ④ 9.30～10.12 芦屋川カレッジ30年のあゆみ展 ⑤10.23～11.1 国指定史跡 会下山遺跡を守り、活かす展 ⑥ 1. 8～ 1.28 ルナ・ホール事業今心かし展&私のコレクション展 ⑦ 2. 3～ 2.15 仲ノ池の自然環境(在来種と外来種)展 ⑧ 3. 2～ 3.21 芦屋の街かどスケッチ作品展 ⑨ 3.23～ 3.28 国指定史跡 会下山遺跡を守り、活かす展	公民館を日頃利用される個人及び団体	通年	9	
								公民館ギャラリー	公民館を日頃利用される市民団体のうち、成果発表を希望するグループ	通年	20グループ		

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組 掲載された広報媒体(該当箇所◎を記入ください)						
	指標名	単位	H26	H27	方向性				広報 あしや	市HP	あしやトライ あんぐる	まちナビ	その他 (大手新聞紙 等)	協働した団体	
														市 (課名)	他の団体 (団体名等)
上記に含まれる	参加者数	人		延べ 218	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	参加者数	人	延べ35	延べ35	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		芦屋大学
上記に含まれる	参加者数	人		延べ59	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	参加者数	人	延べ 209	延べ 191	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし 英字版広報 あしや		
上記に含まれる	参加者数	人	延べ 1,576	延べ 1,373	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし	生涯学 習課 経済課	あしや文学同好 会、兵庫県立人 と自然の博物 館、ヨドコウ迎 賓館、芦屋市PTA 協議会、グルー プ影sai
上記に含まれる	参加者数	人	延べ 2,320	延べ 2,346	現状維持	A	NHKとの共催事業であるため、実施できるかはNHK次第であること。	今後もNHKとの良好な関係を維持しながら、共同して事業実施を行う。	◎	◎			募集ちらし		NHK神戸放送局
上記に含まれる	参加者数	人	延べ 540	延べ 815	現状維持	A	内容は十分であり、定着している。	基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。	◎	◎			募集ちらし	生涯学 習課	
上記に含まれる	来場者数	人		113	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	来場者数	人		453	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		あしやY0コー ラス
上記に含まれる	来場者数	人		112	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	来場者数	人		620	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	来場者数	人		88	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	来場者数	人		86	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
上記に含まれる	来場者数	人		104	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			募集ちらし		
400	展示回数	回	7	9	増加	A	現業務委託業者の担当者の力によるところが大きい。	担当者が不在となった場合、現在のレベル、特に芦屋市に関する展示が維持できない。	◎	◎			ちらし	⑤⑨生涯学 習課	⑦兵庫県立人と 自然の博物館
上記に含まれる	グループ数	グループ	20	20	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。		◎					

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(市民センター/公民館)

課長名

高田浩志

NO	イベント・講座等 事業名称	新規・継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表						
			① 施策の柱	② 基本的な施策	③ 主な施策概要			イベント・講座等の実施内容	対象世代 (誰向け)	実施 期間	実施 回数 (回)	参加 人数 (人)		
													イベント・講座名	実施内容
3	公民館図書室	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	公民館図書室の運営	公民館図書室で図書などの貸出を行う	公民館図書室		阪神7市1町在住、芦屋市在学・在勤の者	通年			14,668
4	市民センター管理運営	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	市民の文化活動の場を提供	市民センター施設の管理運営、貸出	市民センター管理運営	市民センター施設の管理運営、貸出し。	全世代	通年			使用件数 16,580
5	市民会館文化事業	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	市民の文化活動の発表の場	ルナ・ホールや市民会館・展示場を利用して、発表及び鑑賞の場を提供する。	市民ステージ	グループ・団体等の日頃の成果を発表する場の提供(ルナ・ホール)	市民センターで文化活動を行っている団体	10月17日～11月15日	1		参加団体 9団体、 来場者数 3,003人
								市民ギャラリー	グループ・団体等の日頃の成果を発表する場の提供(展示場など)	市民センターで文化活動を行っている団体	10月10日～11月9日	1		15団体、 延べ 5,138人 来場
								市民絵画展	個人の絵画作品、作品数	芦屋市内在住・在学・在勤で、絵画を制作している個人	9月2日～9月6日	1		延べ452 人來場
6	ルナ・ホール事業	継続	②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア_地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	文化事業の発信		第68回市民寄席 桂米團治、桂米平、桂團治郎	桂米團治、桂米平、桂團治郎	全世代	4月17日	1		500
								木津川計の一人語り劇場	木津川計	全世代	4月25日	1		214
								いきいきシネマサロン	①「武士の献立」上戸彩、高良健吾、西田敏行 他 ②「紙の月」宮沢りえ、池松壮亮、大島優子 他 ③「縫い裁つ人」中谷美紀、三浦貴大、片桐はいり 他 ④「マリア・カラス伝説のオペラ座ライブ」マリア・カラス 他 ⑤「あん」樹木希林、永瀬正敏、内田伽羅 他	全世代	① 5月23日 ② 7月25日 ③ 9月26日 ④ 11月28日 ⑤ 3月26日	①3回上映 ②3回上映 ③3回上映 ④2回上映 ⑤3回上映	①461 ②655 ③591 ④412 ⑤966 延べ 3,085	
								夏休み子どもシアター「エルマーの冒険」	アニメ	全世代	8月1日	1		642
								関西洋楽の故郷・芦屋で歌う貴志康一の歌曲と名曲コンサート	アルカディア音楽芸術財団	全世代	10月18日	1		178
								第18回芦屋能・狂言鑑賞の会	長山禮三郎、野村萬斎、笠井賢一 他	全世代	11月20日	1		555
								第69回市民寄席 さこば・南光・塩鯛三人会	桂さこば、桂南光、桂塩鯛 他	全世代	11月27日	1		505
								あしやティアフル映画祭	アニメ	全世代	1月9日	1		626
								あしやDe幸村～真田幸村の真実に迫る! トークイベント	笠谷和比古、旭堂南陵、旭堂南桜 他	全世代	2月7日	1		213
								第6回芦屋文学サロン「在原業平と芦屋」	清本延柳、花柳寛十郎、栗本智代 他	全世代	2月27日	1		468
7	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	イ_高齢者・障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	高齢者大学の実施	芦屋川カレッジ・カレッジ大学院の実施	芦屋川カレッジ32期生	○必修コース、36回 延べ3,654人出席 ○選択コース 関西文化コース、15回 延べ748人出席 ○世界探訪コース、15回 延べ759人出席	60歳以上の市民	H27年5月13日～H28年3月9日	36	110	
								芦屋川カレッジ聴講生	関西文化コース、9回 334人 世界探訪コース、9回 375人	芦屋川カレッジの修了者	H27年5月20日～H28年2月17日	9	110	
								芦屋川カレッジ大学院	日本と世界の食文化～美味しさを求めて旅に出よう～	芦屋川カレッジの修了者	H27年4月27日～H28年3月28日	12	109	

3	4					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組										
	効果的実施が客観的に確認できる指標								掲載された広報媒体(該当ところ◎をご記入ください)										
	指標名	単位	H26	H27	方向性				広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)				
H27 事業費 (単位:千円)																			
1,866	貸出利用者数	人	13,920	14,668	増加	A		今後も適切に事業を継続する		◎									芦屋市立図書館HP
113,425	使用件数	件	使用件数 15,859	使用件数 16,580	増加	A		適切な施設の改修を計画的に行う。		◎									
503	参加団体数	団体	13	9	現状維持	A	参加団体の固定化・高齢化	現状どおり、適切な事業実施を行う。	◎	◎									市内広報掲示板
上記に含まれる	参加団体数	団体	13	15	現状維持	A	参加団体の固定化・高齢化	現状どおり、適切な事業実施を行う。	◎	◎									市内広報掲示板
上記に含まれる	出品者数	人	38	46	増加	A	参加者の高齢化	現状どおり、適切な事業実施を行いつつ、出品者の年齢層が広がる要素を入れられないか検討する。	◎	◎									市内広報掲示板
14,300	来場者数	人	297	500	増加	A	参加者が減少傾向にある。	定着した事業だが、できれば柱米團治氏以外の出演者の選定など工夫をする。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人	288	214	減少	A	出演者である木津川氏の高齢化	木津川氏が高齢であるため、今後も継続できるか不明である。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人	6事業で延べ 4,129人	①461 ②655 ③591 ④412 ⑤966 延べ 3,085	現状維持	A	上映映画により集客数にばらつきがある。より芦屋市民の文化度を高める映画を選定することが課題となる。	現状どおり、適切な事業実施を行う。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人		642	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人		178	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			◎						市内広報掲示板 甲南学園
上記に含まれる	来場者数	人		555	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人	509	505	現状維持	A	参加者数の増加	市民に定着しているため、今後も実施していきたい。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人	327	626	増加	A		市民に定着しているため、今後も実施していきたい。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人		213	現状維持	A		今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
上記に含まれる	来場者数	人	216	468	増加	A	計画より参加者数が少なかった。参加者層が限られている。	芦屋らしさを活かした催物の企画を今後も行う。	◎	◎			◎						市内広報掲示板
7,000	受講者数	人	109	110	現状維持	A	毎年平等に抽選しているため、2年続けて受講できない人がいる。	今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									募集ちらし
上記に含まれる	受講者数	人	105	110	現状維持	A	毎年平等に抽選しているため、2年続けて受講できない人がいる。	今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									募集ちらし
上記に含まれる	受講者数	人	110	109	現状維持	A	毎年平等に抽選しているため、2年続けて受講できない人がいる。	今後も現状の事業レベルを維持する。	◎	◎									募集ちらし

◆文化振興基本計画に基づく事業評価票(文化ゾーン:図書館)

課長名

丸尾 恵子

NO	イベント 産 業 事 業 名 称	新規・ 継続	文化振興基本計画(体系)における位置づけ			目的	実施内容	内訳表					
			① 施策 の 柱	② 基本 的 な 施 策	③ 主 な 施 策 概 要			イベント・講座等の実施内容		対象世代 (誰向け)	実 施 期 間	実 施 回 数 (回)	参 加 人 数 (人)
								イベント・講座名	実施内容				
1	読書講演会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	図書利用促進	講演会を実施した。			大人	2月18日	1	74
2	大人が楽しむおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	本の楽しさを伝える	大人を対象としたおはなし会を実施した。			大人	11月25日 2月24日	2	82
3	金曜シネサロン	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	レクリエーションの場の提供	名画の上映会を実施した。			50代以上	毎月第1・3金曜日	22	1113
4	ライブラリーコンサート	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	芸術・文化にふれる	館内でクラシック等のコンサートを実施した。			全世代	4月11日 7月4日 12月6日	3	710
5	ギャラリー展示	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【2】市民の鑑賞機会の提供	芸術・文化にふれる	芸術作品の展示			全世代		4	
6	絵本の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ア_市民の文化活動の充実	【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもに絵本の読み聞かせを実施した。			3～6歳	毎週土曜日	45	739
7	小学生の本の部屋	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	子どもの読書週間ちなみ、ブックトーク等を行った。			小学生	6月7日	1	13
8	人形劇の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	図書利用促進	幼児～小学生(低学年)向けに人形劇の会を実施した。			幼児～小学生	7月28日	1	108
9	こどもおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	小学生以上の子どもを対象に、昔話等のおはなし会を実施した。			小学生	毎週土曜日	45	582
10	怖くて楽しいおはなしの会	新規	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	夏休み行事としておはなし会を実施した。			小学生	8月5日・6日	2	103
11	打出分室こどもおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	親子を対象にした絵本の読み聞かせを実施した。			親子	毎月第2土曜日	12	63
12	親子で楽しむおはなしの会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	親子を対象にしたおはなし会を実施した。			親子	5月23日、30日、10月24日、31日	4	115
13	親子で楽しむ絵本の会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	子どもたちや保護者に本の楽しさを伝える	親子を対象にした絵本の読み聞かせを実施した。			親子	5月23日、30日、10月24日、31日	4	138
14	折り紙教室(子ども対象)	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	ウ_青少年の文化活動の充実	【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	図書利用促進	子ども対象の折り紙教室を実施した。			小学生	7月24日	1	57
15	おはなしの研究会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	おはなしの研鑽	ストーリーテリングの研究会を実施した。			大人	毎月第4水曜日	11	209
16	こどもの本の研究会	継続	①市民の自主的な文化活動の推進	カ_文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	絵本の鑑賞・批評	絵本を中心とした研究会を実施した。			大人	毎月第3水曜日	8	136
17	資料収集保存	継続	③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	ウ_情報の収集等	【20】情報の収集等	情報提供	資料の収集・保存を行った			全世代			

3 H27 事業費 (単位:千円)	4 効果的実施が客観的に確認できる指標					5 自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	6 文化面での課題	7 文化面での 今後のビジョン	8 広報や他団体との連携により文化の影響を他へ広めた取組							
	指標名	単位	H26	H27	方向性				掲載された広報媒体(該当するところ◎を記入ください)							
									広報あしや	市HP	あしやトライあんぐる	まちナビ	その他(大手新聞紙等)	市(課名)	他の団体(団体名等)	
33	参加者数		53	74	現状維持	A	図書館利用促進	事業を通じて図書館利用につなげる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		41	82	現状維持	S	図書館利用促進	事業を通じて図書館利用につなげる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		1,403	1,113	現状維持	B	図書館利用促進	事業を通じて図書館利用につなげる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		620	710	現状維持	A	図書館利用促進	事業を通じて図書館利用につなげる。	◎	◎						芦屋市立図書館【友の会】
	参加者数		4	4	現状維持	A	図書館利用促進	事業を通じて図書館利用につなげる。		◎						芦屋市立図書館【友の会】
	参加者数		654	739	増加	A	参加者の低年齢化	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		23	13	増加	B	事業内容の工夫	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
15	参加者数		108	108	現状維持	A	参加者の低年齢化	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		452	582	増加	A	参加者の低年齢化	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		-	103	増加	A	事業内容の工夫	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		73	63	増加	B	保護者への取組	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		100	115	増加	A	保護者への取組	大人に対する読書への取組を検討する。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		105	138	増加	A	保護者への取組	大人に対する読書への取組を検討する。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
22	参加者数		56	57	現状維持	A	事業内容の工夫	内容をより充実させる。	◎	◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		200	209	現状維持	A	人材育成	ボランティア、職員育成の場として充実させる。		◎				タウン誌・自治会会報		
	参加者数		142	136	現状維持	A	人材育成	ボランティア、職員育成の場として充実させる。		◎				タウン誌・自治会会報		
	図書受入冊数		15,607	13,418	増加	A	図書館利用の促進	利用者のニーズを踏まえた資料収集・情報提供を行う。		◎						